

今回は、プラグインハイブリッド車について紹介します。

プラグインハイブリッド車とは・・・

電気自動車は走行中にCO2を排出しないので、環境に優しいが、1回の充電での航続距離が100km程度と、長距離の走行に向いておらず、充電インフラが整っていないというデメリットがあります。
一方、プラグインハイブリッド車は、モーターとエンジン両方を搭載しており、モーターだけだと20km程度しか走行出来ませんが、エンジンを使えば、ハイブリッド車として長距離走行が可能で、発電用としても利用することが出来ます。充電はこれまでの電気自動車と違い、家庭用コンセントなどの外部電力で出来ます。燃費やCO2排出量は、ハイブリッド車と電気自動車の間になります。

つまり・・・



電気自動車



ハイブリッド車



プラグインハイブリッド車

プラグインハイブリッド車には次の2タイプがあります。

・シリーズ方式：

モーターだけで走行するが、電気容量が少なくなると、エンジンを使って発電し、蓄電する。構造が単純化でき、コスト面で有利。三菱自動車やスズキ、シボレーなどはこちらの方式。



・シリーズ・パラレル方式：

短距離走行時にはモーターのみで駆動し、長距離走行時はエンジンで駆動する方式。燃費効率が向上するもののシステムが複雑になるため、コスト高となる。トヨタのプリウス プラグインハイブリッドが採用。

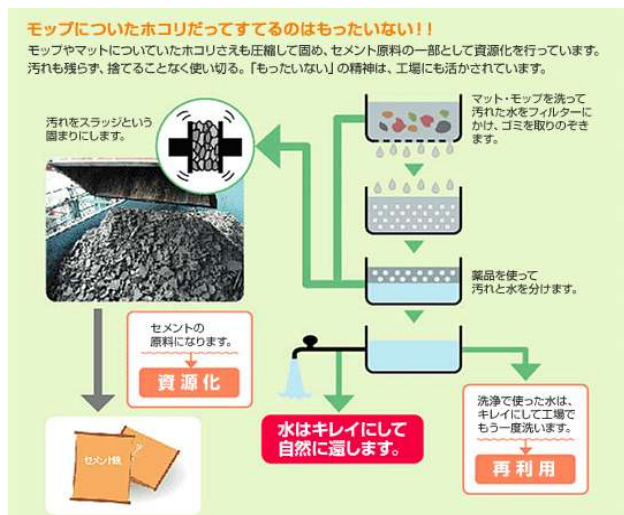
電気自動車とハイブリッド車の両方の側面を持ち、充電が手軽に出来るプラグインハイブリッド車ですが、下記のような問題点があり、今後の課題となっていきそうです。

- ・電気使用量が多いため、現状のニッケル水素電池ではモーターでの走行距離が短い。
- ・大型の電池を搭載するため、コストや重量がかさみ、乗車スペースも狭い。

(参考：<http://www.kankyo-business.jp/>)



ほこりについてのお話ですが、あけぼのでも業者さんをお願いしてモップ使用しています。では、モップについたほこりってどのように処理されているのかご存じですか？



- ① フィルターにかけ、大きなゴミを取ります。
- ② 薬品を入れると汚れだけが浮き上がってきます。
- ③ 浮き上がった汚れの水分をギュッと絞るとスラッジという固まりになります。このスラッジはセメントの原料になります。
- ④ 汚れを取り除いた水をさらに濾過してきれいにします。
- ⑤ 魚が住めるくらい、すっかりきれいな水にして次の洗浄に利用します。